質問 心の通った障がい福祉施策をどう推し進めるのか

町長 障がいのある方に寄り添った福祉施策の推進に努める

糸原　文昭　議員

質問 第6期奥出雲町障がい福祉計画・第2期奥出雲町障がい児福祉計画を基に、心の通った障がい福祉施策をどう進めるのか。

町長 障がいのある方が地域で取り残されることのないよう新設された相談支援事業の充実・強化を図る。

質問 障がい者の方の困りごと、悩みごとや就労などの心の支えとなる相談体制とは。

福祉事務所長 福祉事務所に相談支援員を1名配置した。保健師や地域包括支援センターの連携や「けやきの郷」や「ふきのとう」での相談支援事業を行っている。

質問 家族の高齢化などにより、障がい者の世話が限界になっている。グループホームの増床が必要と考えるが。

福祉事務所長 町の中期財政計画に施設整備費を計上していることから、今後、計画の実施に向け協議する。

障がい者就労施設の作業の様子（ふきのとう）

質問 就労継続支援※B型事業所での仕事や工賃の確保に向け、成果はどうか。

福祉事務所長 役場内での障がい者就労施設等の物品調達の実績額は増加している。今後も制度の周知を関係機関へ働きかける。

※B型事業所・雇用契約を結ばないで就労訓練を行う事業所

水道事業の将来について

質問 町の水道事業戦略には、水道未整備の解消については記されていないが、早期に整備すべきでは。

町長 水道の未普及の家庭については、飲料水安定確保対策事業があるので、相談をいただきたい。

質問 水道事業を近隣市町と広域連携を進めていくとあるが、その後の進展は。

町長 島根県水道広域化推進プラン検討会で、令和4年度に県議会へ報告のののち、経営安定化のための共同化が進んでいくものと考える。

質問 この計画では、令和5年度、8年度に5％の値上げの計画があるが値上げを行うのか。

水道課長 水道料金の改定は、令和4年度に水道事業運営委員会で審議いただくこととしている。

質問 耐震性のある水道施設や水道管の更新の進捗状況は。

町長 40年を過ぎた水道管については、令和4年度から順次更新を進めていく。

奥出雲たたらと刀剣館「コック95」彫刻

質問 農業遺産の将来展望は

町長 社会や環境変化に合わせ、動的保全により維持・発展していく

石原　武志　議員

質問 農業遺産認定の趣旨は。

農業振興課長 農業に関わって育まれた伝統文化・景観・生物多様性などを保全・継承し、知名度向上やブランド力の強化を目指す。

質問 深刻な農業者不足や農業離れなどへの対応策とつなげていけるか。

農業振興課長 劇的には変わらない。来来志向の前向きな取組を重ねることが大切。呼びかけにより新たな人材など未来を担う多様な人材も期待できる。

世界農業遺産啓発の横断幕

質問 地元の高校にも「牛飼いクラブ」などを創設してほしい。町民や農業者に対する啓発はもっとすべきではないか。

町長 農業システムは将来も形を変えず保全するだけでなく環境の変化に合わせ動的な保全により守っていく。

文化講演会等の開催、地域活動へのチラシ配布等で周知。魅力・価値の再認識を啓発していく。

原子力発電・事故対応について

質問 原発再稼動について報道が盛んになされている。脱炭素社会構築のため現状では原発も有効利用すべきと考えるがどのように捉えているか。

町長 再生可能エネルギーですべての電力需要対応は難しく、火力や原発で補うことも必要。再稼働には県や松江市・国、電力会社などから説明を受け判断する。地元住民や30㎞圏内自治体とも同様と認識する。

質問 避難受入れの要請があった場合の受入れ体制は。

町長 町内の小中学校・コミセンを候補地とし町原子力災害対策避難住民受入マニュアルに基づき対応する。

質問 基幹的役割を果たすと思われる中央体育館の改修整備計画は。

町長 すぐに使用禁止の処置をとるほどでもない。令和7年以降対応を計画。

質問 この際、新しく学校団地造成や避難計画に合わせ新体育館新築、福祉施設等総合的に支援を受け、街づくりを見直し、開発・造成するなどの考えはないか。

町長 補助金制度の適正化から支援の受け入れは困難と考える。ただ広く検討はしていきたい。

その他の質問

布勢小学校代替校舎問題について。